

宮園自治会の取り組み

○はなみず木の会

- ・ 宮園自治会員を構成員として、平成3年4月1日「はなみず木の会」を設立した。
- ・ 現在、本会会員は30人であり、すべて女性である。
- ・ 活動目的は、ボランティア活動を通じて、宮園自治会員の相互信頼関係を深め、優しいコミュニティーづくりの一端を担うことである。
- ・ 災害発生時は食の確保が大切であり、炊き出しや非常食の管理を行っている。
- ・ 防災訓練では、炊き出しを行った。本会会員は、数多くの訓練を通じて、炊き出しを実施しているため、その作業について皆が慣れている。
- ・ 防災さんま祭りを実施しており、その中で「カエルキャラバン」を実施したところ、好評であった。

○車のマイナンバーステッカー

- ・ 下記の写真は、先進的に宮園自治会が作成した車のマイナンバーステッカーである（※工事用は別）。災害時には、車中泊をしている人の安否確認等にも使用でき、防災面での効果が期待できる。

住民に固有の番号をつけた
ステッカーを配布



○第41地区町内自治会連絡協議会

- ・ 第41地区では女性班を結成し、防災の講演会やワークショップへの積極的な参加を促している。

○男女共同参画の視点を取り入れた防災活動について

- ・ 問題点は、役員などに男性が多いと女性がなかなか発言できないことが課題